収支予算書

記入例

(収入)

	項 目	金額の内容・積算根拠	金 額(円)	
地域づくり活動 NPO			500,000	
事業助成金			300,000	<u> </u>
△△事業収入		@2,000円×60人	120, 000	1
自己資金			25, 000	
合 計			A 645, 000	<u> </u>
※助成金額については千円未満切捨て			1	同額
(支出) /				必ず内数
区分	項目	金額の内容・積算根拠	金額(円)	左のうち 助成対象金額
直接経費	アルバイト賃金	@6, 000 円×15 日	90, 000	90, 000
	備品 ※1	調理台 200,000円	200, 000	100, 000
	謝金	講師料(〇〇教授)@10,000円×5/面	50, 000	50, 000
	旅費交通費	講師旅費 20,000 円 スタッフ交通費 10,000 円	30, 000	30, 000
	委託費	〇〇のデザイン料 50,000円 印刷入稿データ作成 50,000円	100, 000	100, 000
		/		
	小 計	同額	B 470, 000	370, 000
(一般管理費) 間接経費	経理担当者人件費	@8,000 円×2 日×5 ヶ月	80, 000	80, 000
	通信費	電話代、切手、宅急便	20, 000	10, 000
	会議費	打合せ室料、打合せ資料代 \	15, 000	10, 000
	印刷費	資料印刷に係る印刷代、コピー代	40, 000	20, 000
	消耗品費	用紙、インク、事務用品	20, 000	10, 000
	小 計		C 175, 000	D 130, 000
合 計			<u>B+C 645, 000</u>	♦ <u>500, 000</u>

※金額欄と積算根拠、各区分の小計、収入・支出の合計等が合っているか、必ず確認してください。 ※必要に応じて、欄を追加・拡大して、理解しやすいように記載してください。

留意点

- \bigcirc A=B+C
- ② C (間接経費) ≦ 助成の対象となる経費×30% (間接経費として支出した執行状況の確認を行います。間接経費の書類を区分し、合理的な割合で按分するなど一定の整理をお願いします)
- ③ D(間接経費)≦ 助成額×30%
- ④ 対象外経費(事務所費用(事務所の家賃、光熱水費等)、備品(※1。助成額の20%をこえる部分)、 飲食費等)あり。
- ⑤ 人件費助成は、根拠となる人件費等支給規定を事業実績報告時に添付すること。なお、団体関係者が講師となる場合は人件費で計上すること。